

令和3年度文部科学大臣表彰（優秀教職員）被表彰者

1 教職員（優秀教職員）（18名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>岩見沢市立南小学校 教諭 くろさか しゅんすけ 黒 坂 俊 介 (49歳)</p>	21年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、小学校教員として時代の要請に応える教育活動に努めている。特に、岩見沢市立南小学校では、北海道教育委員会指定事業「学校力向上に関する総合実践事業」においてコーディネーターとして包括的かつ組織的な学校改善の取組の中心的役割を果たし、大きな成果を上げた。</p> <p>また、ICTの活用及び文部科学省「GIGAスクール構想」の推進にも関わり、当該校のみならず岩見沢市全体の推進・充実に寄与している。整備された1人1台端末を積極的に授業に活用する研究リーダーとして、次世代型の授業実践を積み重ねており、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もオンライン学習を発信するなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>滝川市立東小学校 教諭 くろさわ きょうた 黒 澤 恭 太 (32歳)</p>	10年	令和 2 年度	<p>外国語科に関する自らの授業実践や授業理論の研さんを深め、その成果普及に尽力し、空知管内全体の外国語科授業の質の向上に資する活動を行った。</p> <p>特に、平成29年度に「英語教育推進リーダー中央研修」に参加して自らのスキルアップを図るとともに、その内容を道内の教員に対して広く普及する研修方法を学んだ。研修終了後は英語教育推進リーダーとして、平成30年度から2年間、その成果を滝川市はもとより管内に広く発信し、高い評価を得ている。児童の英語力や教師の指導力向上に大きな成果を上げ、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、校内で師範授業を実施して自校教員の指導力向上に資するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>北海道岩見沢緑陵高等学校 教諭 かわさき ともふみ 川 崎 知 文 (53歳)</p>	30年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、同校の情報教育推進の中心として、生徒に対する教育活動と、ICT環境の整備に尽力してきた。</p> <p>特にコロナ禍における休業中にオンデマンド形式と双方向オンライン形式を併用した授業を実施するため、機器の環境整備と教職員の技術指導を一手に担い、生徒の学習機会確保に大きな成果を上げた。</p> <p>登校再開後も、ICTの積極的な活用が今後の学校教育にどのように活かされるかを継続して研究し、令和4年度以降のBYODによる端末整備や効果的な活用法の研修に取り組むほか、地域の小中学校で講師として自らの実践紹介や助言を行い、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も研修を進め、校務のデジタル化を実施するなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>北海道札幌国際情報高等学校 教諭 はやし ともこ 林 智 子 (46歳)</p>	11年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、高等学校の外国語科教諭として授業改善に取り組み、生徒が英語に興味・関心を持ち、主体的・協働的に授業に参加しながら論理的・批判的思考力を身に付け、将来にわたり活用できる英語力を取得できるよう、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、日々の授業においてコミュニケーション活動を土台とした、リテリングやサマリー、プレゼンテーション、科目横断的なディベートを効果的に取り入れるなど、生徒の英語を主体的に使用する場面を常に設定して学習意欲の向上につながる取組は他の模範となっており、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も研究会の講師を務めるなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道千歳高等支援学校 教諭 ふるき けんご 古 木 憲 吾 （44歳）	19年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、「言語活動の充実」及び「キャリア発達支援」等について研究と実践を重ね、生徒自身の学びを重視し内面の変化や成長を促してきた。</p> <p>また、地域の教育支援委員や自立支援協議会委員を歴任するほか、特別支援教育に関する相談等を行う派遣教員として、広大なエリアの中学校・高等学校を訪問し、指導助言を行うなど特別支援教育の推進に大きく寄与した。</p> <p>また、校内外をフィールドに、生徒にとって生きた経験となることを目指した教育活動として、様々な取組を相互に関連性を持たせた実践等が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、日々自己研さんし地域の関係機関と連携を積極的に進め、特別支援教育の推進及び充実に努めている。</p>
小樽市立銭函小学校 教諭 さとう たかし 佐 藤 充 （35歳）	10年	令和 2 年度	<p>算数専科としての専門性を活かした指導の充実、授業改善に取り組むなど、教員の指導力向上に尽力した。</p> <p>特に、公開研究会における授業者として範を示し、授業改善に取り組むとともに、家庭学習の充実や学習規律の定着、全国で統一した授業展開など、組織としての学力向上の取組の中心的役割を担うほか、小樽市小中学校学力向上検討委員として全市の学力向上の取組を推進し、成果を上げた。</p> <p>また、教務主任として外部講師や地域人材を活用した出前授業など、社会に開かれた教育課程の編成及び実施の充実を図るとともに、カリキュラム・マネジメントの充実においても中心的な役割を果たし、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、全市の学力向上に対して中心的な役割を担うなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道倶知安高等学校 教諭 みなみ かおり 南 佳 織 （44歳）	20年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、高等学校の外国語科教諭として英語教育の授業改善や指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。</p> <p>特に、学校行事と英語の授業を関連させ、英語による発表活動を取り入れるなど、英語によるコミュニケーション能力の向上に取り組むとともに、生徒の学習意欲を喚起するためにICTを活用するなど工夫し、実用英語技能検定受検者数・合格者数を大きく伸ばすなど、英語教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」における「授業改善セミナー教科指導講座」の講師（スペシャリスト）を務め、英語に関する指導方法等の普及を通して教員の指導力向上を図るなど、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後においても、研修会等を通して普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道苫小牧東高等学校 教諭 たかにし たかゆき 高 西 貴 幸 （42歳）	18年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、各種研修に主体的かつ意欲的に参加し、英語の4技能活用による実践的な英語力の育成を効果的に進めるなど、英語教育の改善・充実に継続して取り組んでいる。</p> <p>特に、コミュニケーションの手段として英語を活用した授業を他の英語科教員及びALTと連携・協働して展開し、生徒の意欲や関心を高め、“生きた”英語の向上に力を尽くしている。</p> <p>また、平成26年度から複数年度において「グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修」の講師を務め、英語による言語活動を通して生徒の表現力やコミュニケーション能力を育む授業を行うなど、新学習指導要領の実施を見据えた英語教育の在り方について参加者の課題意識を高めて、外国語科教員の教科指導力向上及び管内外の英語教育の充実・発展に大きく貢献し、その実績が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、Hokkaido Study Abroad Program2021の講師として、言語活動を生かしたコミュニケーション能力の育成に寄与するなど、4技能を育成する英語教育の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北斗市立大野小学校  教諭  さとう あつし 佐 藤 敦  (44歳)	11年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、小学校の特別支援学級教諭として特別な教育的支援を必要とする児童への指導方法の工夫・改善に取り組むとともに、保護者や関係機関と連携しながら個に応じた指導の充実を図るなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、特別支援教育コーディネーターとして校内体制の整備や校内研修の充実に取り組むとともに、保護者や関係機関との連携を図り、児童一人一人の障がいの特性に応じたきめ細かな指導を実践するなど、特別支援教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、教育相談実践研修講座の講師として地域の関係機関との連携体制の構築や児童・保護者との教育相談、学校の指導体制の充実、個別の指導計画を活用した指導等について全道の教員に指導助言を行い、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、校内「特別支援センター」の立ち上げや運営、特別支援教育への理解促進活動をするなど普及啓発や自己研さんに努めている。</p>
北斗市立大野中学校  教諭  みかさ ゆうや 三 笠 裕 也  (40歳)	14年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、小・中学校教諭として音楽科の学習指導に優れた実践を重ねて成果を広く普及し、音楽教育の質の向上に尽くすとともに、平成28年から文化庁主催の文化芸術育成事業の企画・推進に携わり、質の高い音楽を地域に普及させる中心的な役割を果たしている。</p> <p>生涯にわたって音楽に親しむ生徒を育成するため、ICTの効果的な活用など先進的な授業改善に取り組み、その成果を専門紙に執筆するなど、広い視野で音楽科指導の充実に寄与する傍ら、自ら日本音楽教育学会や日本学校心理士会等に所属して論文発表するなど、意欲的に研究を重ねている。音楽科の指導にとどまることのない広い視野における教育活動は、校内はもとより地域の教育改善・発展の推進者として大きな成果をあげ、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も日本音楽教育学会をはじめとしたシンポジスト・研究発表及び原稿執筆を行うなど、音楽教育の発展啓発及び自己研さんに努めている。</p>
江差町立江差小学校  教諭  すずき なおこ 鈴 木 尚 子  (49歳)	27年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、道徳教育の授業改善に取り組み、自校における道徳教育の充実に尽力するとともに、授業を効果的に行うための創意工夫した教育活動を展開している。特に、道徳教育推進教師として北海道版道徳教材「きたものがたり」を活用した授業の公開や、校内研修において指導計画の整備と指導方法の工夫に係る講師を務め、指導体制を充実させて道徳教育を推進するなど、本道の道徳教育の振興と充実に大きく寄与している。</p> <p>また、教務主任として、豊富な経験に基づいた研究成果を提言して若手教員の育成に中核的な役割を果たすとともに、「中堅教諭等資質向上研修」の講師を務めるなど、人材育成に関して大きく貢献したその実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、ICTの効果的な活用法について自己研さんを重ねるとともに、授業改善や人材育成に向けた普及啓発に努めている。</p>
北海道旭川農業高等学校  教諭  こやま やすゆき 小 山 靖 之  (51歳)	25年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、「課題研究」を主体的・対話的で深い学びとするためアクティブ・ラーニングを活用し、専門性の高い授業を展開して成果を還元し、地域産業を担う人材育成に貢献した。</p> <p>特に、農業クラブの指導においては、地域の関係機関との連携や各種コンテストへの応募等、様々な取組や成果を全道・全国に向けて発信して全道の農業教員の手本となっているほか、農業教育に係る多くの役職を歴任し、農業教育の向上、振興に大きく貢献している。</p> <p>また、クラブ活動を通して地域の活性化、農林業の発展、社会貢献する人材を育成して関係者や地域から高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も全国育樹祭での事例発表や旭川美術館での展示など継続して実践を重ね、農業教育の指導充実に努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
稚内市立稚内南中学校 教諭 あべ さとし 阿 部 諭 (47歳)	20年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、中学校教諭として道徳教育の推進体制整備や授業改善に取り組むとともに、平成30年度から「北海道道徳教育推進事業」推進教師としてモデル事業の実施や実践研修会の講演等に取り組み、管内道徳教育の改善・充実に尽力している。</p> <p>特に、「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」に係る道徳教育講演会及びシンポジウムにおいて、公開授業者・中間報告者として実践の成果を管内外に発表するなど、新学習指導要領を踏まえた「考え、議論する道徳」の普及に大きな成果を上げている。</p> <p>また、北海道版道徳教材「きたものがたり」の活用事例集や「自尊感情・規範意識を醸成する道徳教育に係る指導資料」の作成等に参画し、効果的な指導の在り方を普及するなど、本道の道徳教育の推進に大きく貢献した実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICT、タブレットを活用した道徳の授業を実施しながら「考え、議論する道徳」の実践、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
湧別町立湧別小学校 教諭 つちや りょうすけ 土 谷 亮 祐 (40歳)	14年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、オホーツク管内国語教育研究会の研究部長として初任段階教員及び若手教員を対象とした師範授業や、各種公開研究会における助言等、国語科教育の指導充実に関する取組に尽力している。</p> <p>特に、授業改善において指導内容を重点化・明確化した単元構成や、他教科と関連した教育活動の実践について教育局主催の「教師力向上セミナー」で提言するなど、大きな成果を上げている。</p> <p>また、「湧別町学校力向上事業」において、人材育成や日常の授業改善を主とした包括的な学校改善の取組において中核を担い、教員の指導力向上及び学力向上に結び付け、優れた成果を上げて高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も授業改善に取り組むなど、指導力向上の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北見市立三輪小学校 主幹教諭 さかいだ しょうご 境 田 正 吾 (42歳)	20年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、小学校の教諭として国語科及び道徳科の指導充実に取り組み、管内の授業改善に尽力するとともに、主幹教諭として若手教員に対して師範授業やTIによる指導を行うなど、人材育成に尽力している。</p> <p>特に「学校力向上に関する総合実践事業」の中核を担い、「中堅教諭等資質向上研修」や自校の公開研究会において学校組織マネジメントの在り方について助言を行うほか、その成果を積極的に発信し、管内の学力向上に向けた取組の推進に大きな成果を上げている。</p> <p>また、教育局や網走地方教育研修センター主催の講座・研修会等の講師ほか、管内の公開研究会の助言者を担うなど、豊富な経験に基づいた研究成果と実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けた指導・助言を実施するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
幕別町立幕別中学校 教諭 えんどう やすよ 遠 藤 康 代 (48歳)	13年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、中学校教諭として基礎的・基本的な内容の定着と生きる力を身に付ける授業づくりを目指し、英語教育の充実に尽力するとともに、小学校外国語科及び外国語活動と中学校外国語科の円滑な接続、小学校教員の授業力向上に熱心に取り組んでいる。</p> <p>特に、令和元年度「グローバル化に対応した英語教育指導力向上研修」の講師や「英語教育指導力向上研修」の授業公開など、管内の英語教育の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、「生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業（英語教育改善プラン推進事業）」全国連絡協議会において実践発表を行うとともに、英語教育に係る課題を明らかにし、その解決に向けた取組成果を普及するなどの実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も英語教育の更なる改善・充実など普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道 教 実 践 年 彰	主 な 実 践
帯広市立南町中学校 教諭 もろた なおひこ 諸 田 尚 彦 (48歳)	10年	令和 2 年度	<p>中学校教諭として自閉症・情緒障害特別支援学級を担当し、個に応じた指導及び校内の特別支援学級の体制づくりの充実に向けた教育活動を展開するとともに、幼保小中連携活動において保護者及び教員を対象とした特別支援教育の学習会を実施し、円滑な学びの接続の実現に大きく貢献している。</p> <p>また、十勝管内の平成30年度特別支援学級リーダー教員として札幌市で行われた研究協議会に参加するとともに、管内における令和元年度特別支援教育基本セミナーにおいて講義「授業づくりの実際」を担当するなど、広く特別支援教育の充実に大きな成果を上げている。</p> <p>特に、道立特別支援教育センター「令和2年度重点教育室研究協力校」の担当として「自閉症・情緒障がい特別支援学級に在籍する児童生徒の適切な教育課程編成に関する実践研究」をテーマに、具体的な課題解決の方策等に関する研修に貢献するなど、その実践は高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も特別支援学級の体制づくりの充実に向けた教育活動を実践するなど、普及啓発及び自己研鑽に努めている。</p>
別海町立野付中学校 教諭 おおはし しんすけ 大 橋 信 介 (44歳)	22年	令和 2 年度	<p>長年にわたり、外国語科の担当教員として、言語活動を通して外国語によるコミュニケーション能力の育成に尽力するとともに、指導計画や「CAN-DOリスト」の改善を図るなど、教育課程を通して生徒の資質・能力を育成することに努めている。</p> <p>特に「中学校教育の英語力向上支援プロジェクト」の構成員として、単元の指導計画の作成や、パフォーマンステストに関するハンドブックを作成するとともに、授業改善に向けた取組は、他の模範となっており、管内はもとより、道内における外国語教育の振興と充実大きな成果を上げている。</p> <p>また、中学校外国語科の担当教員のみならず、小学校教員にも広く取組を周知する等「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりの推進に中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた提言を行うなど、その実績が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、継続して行っている地元小学校への乗り入れ授業や、別海高等学校との中高互見授業等を積極的に実施し、根室管内小・中・高等学校英語教育支援事業推進校としての実績を積み上げるなど、普及啓発及び自己研鑽に努めている。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和3年(2021年) 4月1日現在

2 教職員（若手教職員等奨励賞）（11名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>北海道美唄尚栄高等学校 教諭 やまもと ゆうすけ 山 本 雄 介 (35歳)</p>	<p>9年</p>	<p>令和 2 年度</p>	<p>高等学校の保健体育科教諭として、個々の生徒にあった目標を設定して学習を進めることで目標達成に向けた授業に主体的に取り組む教育活動を展開し、体育授業・保健授業に対する楽しさや興味・関心・意欲・態度を育てる授業を実践している。 平成30年度から2年間、国立教育政策研究所教育課程研究指定事業の研究指定校として、「保健体育で育成すべき学びに向かう力、人間性等を養うための指導方法と評価方法の研究」について研究を進め、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰(若手教職員表彰)を受賞した。 さらに、上記実践表彰受賞後も研究の成果を校内研修に生かし、指導と評価の一体化について発表するなど、普及啓発及び自己研さんに務めている。</p>
<p>北海道札幌北高等学校 事務職員 かまた ちさと 鎌 田 千 里 (28歳)</p>	<p>4年</p>	<p>令和 2 年度</p>	<p>高等学校事務職員として教育局勤務の経験を活かし、校内での連絡調整及び財産・契約事務を執り進めるなど、学校事務の中心的役割を担うほか、後輩への業務サポート・指導を献身的に行い、学校運営に大きく貢献している。 前任校の根室高校では、根室西高校との統合事務に携わり、関係機関との連絡調整や各種手続等に尽力し、両校の統合に大きな役割を果たした。 また、北海道公立学校事務職員協会からも大きな期待を寄せられ、事務実務提要編集委員として原稿修正・執筆等に従事するなど、学校事務の推進に大きく貢献した実績が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰(若手教職員表彰)を受賞した。 さらに、上記実践表彰受賞後もなお一層、提要の編集・編纂業務に真摯に取り組み、自己研さんに努めている。</p>
<p>倶知安町立西小学校 養護教諭 ときた めぐみ 時 田 恵 巳 (26歳)</p>	<p>4年</p>	<p>令和 2 年度</p>	<p>コロナ禍において、健康カードを基に児童生徒一人一人の健康状態の把握や積極的に児童生徒の声に耳を傾け心のケアに努めた。また、担任教諭と協働し指導案作成など保健授業も積極的に行っている。その取組は後志教育局発行の管内取組事例集に掲載されるなど管内教育の充実に貢献し、差別や偏見のない一人一人が大切にされるあたたかい学校づくりにも寄与している。 また、令和元年度には、島牧村立島牧中学校と欠員となった島牧小学校の養護教諭を兼務し、精力的に小中学校全体の健康教育の充実に努め、両校の情報共有の役割を担い、現在の島牧村小中一貫教育の充実に一助となった。 こうした姿勢が、今後の北海道の養護教諭のミドルリーダーとして期待され、本道における健康教育充実に推進役として大きな成果が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰(若手教職員等奨励賞)を受賞した。 さらに、上記実践表彰を受賞後も児童生徒の心身の健康の保持増進を組織的に行うなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
<p>浦河町立浦河小学校 教諭 はれやま せいご 晴 山 省 吾 (33歳)</p>	<p>9年</p>	<p>令和 2 年度</p>	<p>令和2年度から浦河小学校において研修部長を務め、先進的な教育実践に取り組み、同校の教育活動をけん引してきた。 特に、タブレット端末と電子黒板の連携機能(Pen Plus for classroom)に着目し、算数などの教科学習において、児童が自身の考えをタブレットから端末に送信し、その意見を電子黒板に一覧にして反映させ、自身と異なる考えを学ぶことを可能にするなど、率先してその活用を推進した。 また、オンライン学習の実施に向けた校内研修では、昨年5月の新型コロナウイルス感染予防対策による休校措置の際、児童の学びの保障を図るため、校内研修をけん引してきた。 さらに、日高教育研究所・教職員研修センターにおけるオンラインミーティングでは、Web会議システムやデジタルホワイトボードJamboardを活用し、所員や協力員と協議して研究内容の理解を深めるなど、管内の研究活動にも寄与し、これらの実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰(若手教職員等奨励賞)を受賞した。 さらに、上記実践表彰を受賞後もICTを活用した教育や研修活動の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
新ひだか町立三石中学校 教諭 おのでら さき 小野寺 紗 希 (29歳)	7年	令和 2 年度	<p>中学校教諭として専門性と指導力を活かし、生徒が英語に興味をもつことができるよう、指導内容や指導方法の工夫改善に努め、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>校内では研修部長を務め「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて教員をけん引し、教員同士が協働的に研修を深められるよう工夫しながら研修活動を推進している。</p> <p>平成28年度から日高管内英語教育研究会の事務局次長を務め、管内の英語教育の推進に携わる教員間で、指導力向上に向けた研究活動に取り組み、管内小学校教員や中学校英語担当教員を対象とした公開授業を実施するなど、管内の英語教育の振興と充実の中心的な役割を担い、大きな成果を上げている。</p> <p>また、隣接する小学校への乗り入れ授業の実施や高等学校の授業を参観し、小・中・高校の連続した英語教育の実現に向けて授業交流を行うなど、その実践は高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も小・中・高英語教育支援事業を継続し、初任段階教員研修において講師として公開授業を行うなど、英語教育の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
網走市立潮見小学校 教諭 さわだ さき 沢 田 早 生 (30歳)	8年	令和 2 年度	<p>小学校の教員として、楽しく学び、分かる授業づくりに積極的に取り組み、児童一人一人に基礎・基本の定着を図る教育活動の推進に努めている。</p> <p>特に、外国語の学習においては、コミュニケーションの基礎となる資質・能力を育成する授業改善に努め、その成果を研究大会、授業公開、及び実践発表等において広く発信し、高い評価を得ている。</p> <p>また、平成30年度には、小学校外国語巡回指導教員として、網走市内の全ての小学校を巡回して大きな成果をあげ、それらの実践が高く評価されて、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も網走地方教育研修センターの主任研究員として、管内教員への普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道網走養護学校 教諭 ふるや たいち 古 谷 太 一 (30歳)	7年	令和 2 年度	<p>特別支援学校教諭として教育活動に従事する傍ら、令和2年度から中学部主事として学部運営に従事し、ミドルリーダーとして組織マネジメントに努めるなど、学校運営の要として活躍するとともに、校内におけるICT活用の推進に中心的な役割を果たしている。</p> <p>特に、ICTを活用した授業づくりについては、タブレットを活用した授業改善を推進し、児童生徒自身が端末を使用しながら学習活動や生活を進められる環境の構築に努めるなど、学習指導における校内のアドバイザー的な立場を担っている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症により各種行事が中止となる中、遠隔システムを活用した交流事業を企画・実施するなど、その実践は高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICT活用など普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
士幌町立中士幌小学校 教諭 いざわ りょう 伊 澤 亮 (34歳)	8年	令和 2 年度	<p>小学校教諭として、子供が主体的に学ぶ姿を基本に据え、「自ら考え判断し行動できる子どもの育成」を目指し、地域の教育資源を積極的に活用し、郷土に対する愛情や誇りを育む「ふるさと教育」の充実を図るなど、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、総合的な学習の時間「知床学（海洋教育）」において、羅臼昆布等の地域の素材を活用するなど、地域の自然・産業・文化等についての学習の充実に向け、取組の推進に中核的な役割を果たすとともに、研究成果の提言を行うなど、自校のみならず羅臼町内の教員にも影響を与え、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も一貫して「自ら考え判断し行動できる子どもの育成」を目指しており、自己啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
帯広市立森の里小学校 教諭 おいかわ たかひろ 及 川 貴 大 (32歳)	9年	令和 2 年度	<p>国語科授業における言語活動の充実を図るとともに、日々、児童生徒が主体的・対話的に生き生きと思考し表現する授業づくりを目指し、学習意欲や学力向上に向けた教育活動を展開している。</p> <p>特に、前勤務校、陸別中学校の重点である「学びを豊かにするための発表・発信力の育成」を目指し、全国学力・学習状況調査等を分析・活用する授業を行うなど授業改善に取り組み、大きな成果を上げている。</p> <p>また「陸別ふるさと科」の新設において陸別町教育委員会及び関係機関と連携し、地域の産業や歴史を学ぶカリキュラム作成とともに、小中一貫教育コーディネーターとして小学校第6学年の中学校体験登校の企画・実施や9年間を通じた「陸別学習プラン」や発達の段階に応じた学習規律の作成など、小・中学校間の連携に大きく貢献し、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰受賞後も創意工夫を凝らした授業を実施するなど普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
釧路市立阿寒湖義務教育学校 教諭 あらかわ けいご 荒 川 慶 悟 (32歳)	9年	令和 2 年度	<p>令和元年度から、阿寒湖中学校での外国語教育の指導に加え、阿寒湖小学校第5・6学年の外国語活動の指導に当たった。</p> <p>特に、小学校では、中学校との接続を見据え、子供たちが楽しんで聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を行い、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育めるよう授業改善し、それらの経験を中学校第1学年の外国語指導にも反映させ、さらに、それらの取組の一端を「小中一貫教育サポート事業」指定校として釧路管内に広く発信して高く評価されている。</p> <p>また、義務教育学校開校に向け、開校準備委員会のコーディネーターとして、小・中学校の教員相互の連携にも一翼を担うなど、その実践は高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、令和3年度からアブダビ日本人学校派遣となり、「アブダビ通信」を通して、現地の教育事情等を発信するほか、勤務校との「国際理解教育」を計画するなど、国際理解教育の推進に大きく寄与している。</p>
北海道中標津高等学校 教諭 りのいえ けん 李 家 健 (28歳)	6年	令和 2 年度	<p>高等学校の理科教諭として自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指し、学習評価と関連した授業改善や、個に応じた指導の充実など、指導と評価の一体化による創意工夫に富んだ教育活動を展開している。</p> <p>特に、ルーブリックを活用した評価規準の作成及び活用などの取組を通して、生徒に身に付けてほしい資質・能力を明確にした指導は他の模範となっており、管内はもとより本道の理科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、身近な物理現象に焦点を当てて、生徒自身が問いを作成し、科学的に探究する教材の開発や、ICTを活用した教育活動の充実に取り組み、その実践が高く評価され、令和2年度北海道教育実践表彰（若手教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰受賞後も、研修会等においてその成果を他校と共有するほか、クラウドツールを活用した授業を実施するなど、普及啓発及び自己研さんに務めている。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和3年(2021年)4月1日現在